



PICK UP!!

パラソル付きテーブルを増設しました

◇「正田醤油スタジアム群馬」正面入り口前噴水広場◇
3台から6台に増設いたしました。お食事・散歩の休憩・読書等々に、是非ご利用下さい。
安全管理上、パラソルは常時開いておりません。パラソル開閉のご希望がありましたら、公園管理事務所にお声がけください。



アースケア敷島サッカー・ラグビー場にて 消防訓練・AED講習会を行いました

10/4アースケア敷島サッカー・ラグビー場にて消防訓練を行いました。公園管理事務所の従業員・県立敷島公園水泳場の従業員が参加し、場内給湯室からの火災発生を想定した初期消火訓練を行いました。

参加した従業員一人ひとりに〈利用者〉〈管理者〉などの役割が割り振られ、その立場の人を疑似体験することにより各自が「注意点は何か？とるべき行動は？」をそれぞれ考える機会となりました。

最後にAED講習会を行い、AED装置と救命人形を使用した実習訓練を参加者全員が体験しました。

【参加した従業員の感想】

実際に現場で動いてみて、火災現場で放送の音が聞き取りにくいなど今後の課題も見付き大変良い経験が出来た。この体験を職員全体で共有し、改善点は改め、実際の災害時には迅速かつ的確な行動をとりたい。



工事が始まります

園内では11月から様々な工事が計画されております。工事中は大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力の程お願いいたします。

工事の詳細につきましては、公園公式ホームページに順次お知らせいたしますのでご確認ください。

ホームページのご案内は
こちら



公園ホームページやX(旧ツイッター)では
施設スケジュール
駐車場の混雑予想
各種イベント等をご案内しています
ご活用下さい



公園公式
ホームページ



X(旧ツイッター)



看板をリニューアルしました



ビフォー



アフター

劣化して表示が分かりにくい物の修繕や、新規設置などリニューアルを行いました。



野球場グランドキーパー意見交換会 開催

10/17(火)上毛新聞敷島球場において、高崎市城南球場のスタッフとの意見交換会が行われました。当日は、施設見学をはじめマウンド・バッターボックスの埋め戻しや整備車両の走行などの実践体験、球場運営にまつわる様々な議題や、芝の管理や受付業務での配慮点等多岐にわたるテーマについて話し合いが行われました。

参加した城南球場のスタッフは「大変刺激になった。今回の経験を日々の作業に活かしていくのは勿論、今後も意見交換会を定期開催し横のつながりを強めていきたい」と話してくださいました。



職場体験受け入れ

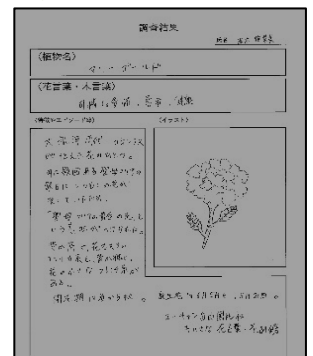
前橋市立富士見中学校・前橋市立第六中学校・群馬県立勢多農林高等学校・群馬県立前橋商業高等学校・群馬県立前橋西高等学校の学生さんが職場体験に来てくれました。

公園内各施設の管理や企画広報、花壇や芝の管理など、スタッフから真剣に学び体験されました。スタッフに公園職員になった経緯・仕事で苦労すること・醍醐味等、質問してくれる場面もあり熱心さが伝わってくる活動でした。

日常では触れることのない裏方の仕事を体験していただき、公園で働くということを少しでも知っていただけたように思います。



花言葉をあなたへ
～マリーゴールド～
可憐な愛情・勇者・健康



富士見中学校 丑木萌菜美さん作成

FMぐんまがやって来た！

FMぐんまのラジオ番組『WAI WAI Groovin'』内の中継が、敷島公園のジョギングコースで行われました。

番組では、中継日9月12日が【マラソンの日】という事にちなんで、アンカンミンガンの川島大輔さんがリスナーさんとリレーマラソン形式で42.195km走破にチャレンジ。早朝からタスキをかけた参加者が代わるがわるコースを走られていました。

コースとして起用された【スタジアム外周ジョギングコース】は一周700mとなっており、スタジアム正面には黒松に囲まれた噴水広場があります。番組スタッフさんや川島さんは「走った距離がわかりやすい」「グループでジョギングを楽しもうと思うと集合場所が必要となる。スタジアム前には広場があるので安全に楽しむことが出来る」等、話してくださいました。

スポーツの秋、皆さんも敷島公園のジョギング・ウォーキングコースをぜひご利用ください！

HPジョギング・ウォーキングコース⇒



花壇が秋の装いに

10月18日～29日に園内花壇の「秋の花植え会」が行われます。

花壇のお花は「JA共済連」様・「エバーグリーン富士見」様から合計約3000株ご寄贈いただき、その除草や管理ではボランティアの方々にご協力いただいています。お散歩やランニングの際は、秋の装いに着替えた花壇を楽しんでいただけたら何よりです。

県立敷島公園では、たくさんの方々の思いで育った花たちを最後まで大切にしたいという思いから、花がらを押し花や染料として使用する活動も始めています。

